

Pick Up!

高校生の保護者に向け

「市内企業巡り」参加者募集

問 営業推進課 ☎ (22) 2111 (272)



市内企業を見学し、直接話を聞くことができる「市内企業巡り」を実施します。

- 実施日** 7月2日(火)
- 対象者** 高校生(学年は不問)の保護者
- 定員** 25人
- 申込方法** 市内高校に通う生徒の保護者は、学校を通じてお申し込みください。市内から市外の高校に通う生徒の保護者はお電話でお申し込みください。
- 申込期限** 6月14日(金)

参加企業 (50音順・敬称略) / (有)アオキビルド、アズビル太信(株)、(株)タカギセイコー、中野スタンピング(株)、中野土建(株)、中野プラスチック工業(株)、(株)ムカイ

ページ

03 キラリ★中野のチカラ

特集

04 **健康づくりポイント
始まる**

08 中野シヨンシヨンまつり

09 私の提言

11 信州なかの日和／市長のわくわくレポート

12 交通事故発生状況

13 政策研究所報告書

14 生き生き！健康メモ／保健だより

15 行ってみよう！やってみよう！シニア情報

16 子育て案内

17 子育て支援センター行事予定／わが家のアイドル

18 まちかどトピックス

20 **暮らしの情報掲示板**

26 心をひらく

28 文化なかの

30 図書館情報

31 博物館だより／小学校統合準備委員会だより

32 夢／広報クイズ

人口の動き

面積：112.18km²
 人口：42,544人 (－120)
 男：20,594人 (－54)
 女：21,950人 (－66)
 世帯数：15,670戸 (+21)
【2019年4月1日現在】
 () は前月比。
 2015年国勢調査を基に推計。

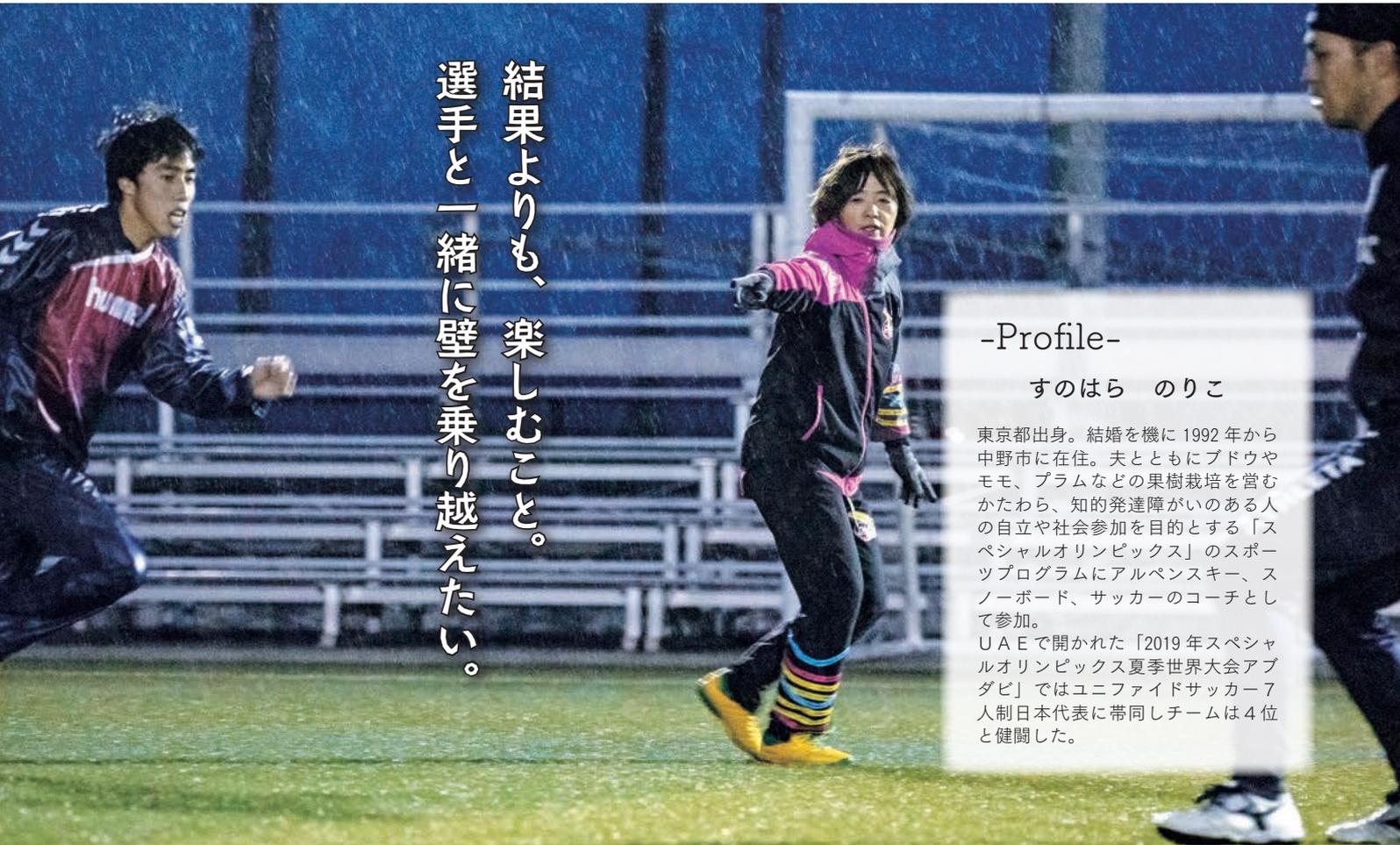


今月の表紙

暖かくなってきてランニングなど、年齢問わず身近に運動が根付いている光景をよく見かけます。中野はどこにいても背景に山が見え、運動をしてもとても気持ちの良い地域。そんな様子を、活発な雰囲気が伝わるような色使いでイラストにしてみました。



▲ irikiさんの作品は32ページに掲載しています



結果よりも、楽しむこと。
選手と一緒に壁を乗り越えたい。

-Profile-

すのはら のりこ

東京都出身。結婚を機に1992年から中野市に在住。夫とともにブドウやモモ、プラムなどの果樹栽培を営むかたわら、知的発達障がいのある人の自立や社会参加を目的とする「スペシャルオリンピックス」のスポーツプログラムにアルペンスキー、スノーボード、サッカーのコーチとして参加。

UAEで開かれた「2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会アブダビ」ではユニファイドサッカー7人制日本代表に帯同しチームは4位と健闘した。



▲長野と京都の混成チームから選出された日本代表。



▲2019年スペシャルオリンピックス夏季世界大会。3月14日から21日まで、UAEアブダビで開催された。

公益社団法人
スペシャルオリンピックス日本・長野

サッカーヘッドコーチ
アルペンスキー、スノーボードコーチ

春原 紀子 (笠原)

「壁」

に当たったら、どうしたら乗り越えられるか考えるのが楽しい。すんなりいくと面白くない。私、壁が好きなんです」。

そう話してくれたのはスペシャルオリンピックス日本・長野でサッカーコーチを務める春原紀子さん。ユニファイドサッカー(※)7人制で長野チームを率い、3月にアブダビで開催された世界大会出場に導いた。

「知的障がいについて書かれた本を読むと、よく『この障がいを持っている人はここまでしかできません』といったくりが出てきます。選手の保護者から『うちの子、これは出来ません』と言われることもある。選手自身も、初めは無理だと言います。でも『大丈夫』と励まし続け、選手と一緒に考え、別の方法からアプローチしてみると、出来ちゃうことってとても多いんです。だから、ここまですが限界というのは、本当はないと思う。選手が『できないはずだった』ことを乗り越えられたときは、すごくうれいすよ」。

春原さんの今後の目標は、11人制サッカーに挑戦することだという。現在の7人制とは戦術も変わり、ピッチの広さもおよそ倍になる。難しい挑戦にあえて挑む理由を尋ねた。

「今後選手が増えたとき、セレクションで落とすということになるべくしたくないんです。全員でやっていきたい。技術の上手い下手なんて、実はどうでもいいんです。ボールを蹴るのが生きがいになった選手たちのために何ができるか考え、そのために努力していきたいと思っています」。

※知的障がいのある選手(アスリート)と障がいのない選手(パートナー)が同じチームで競技を行うサッカー